



お元気ですか  
志村 たかよし です

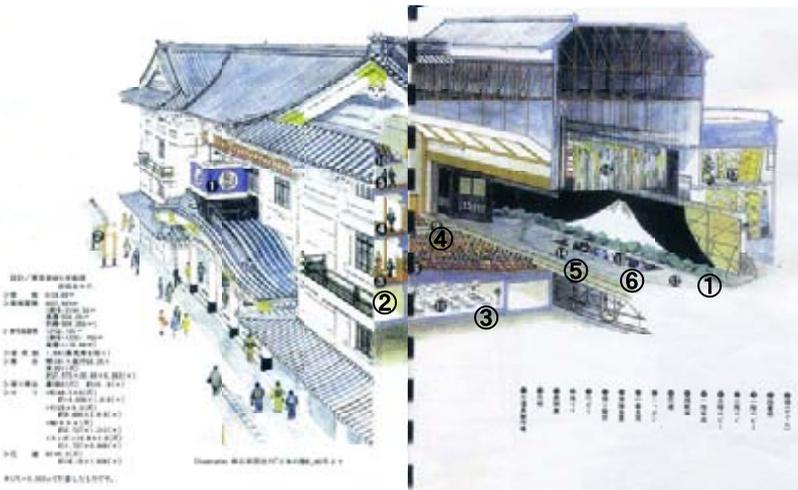
第441号 2009年5月10日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

# 建て替え計画で全国の注目を浴びている 歌舞伎座の舞台裏を視察

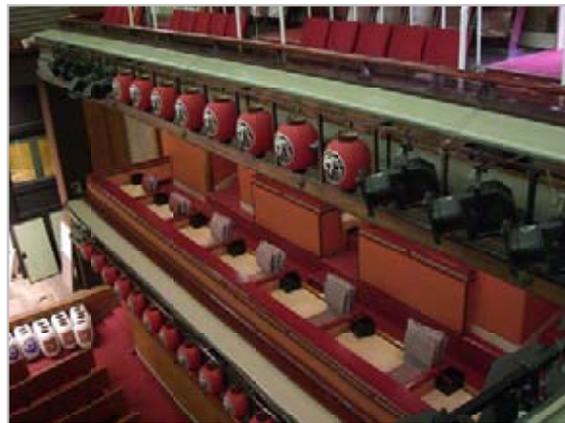
絵は当日の資料。数字は写真説明の場所です



4月28日、建て替え計画が検討されている歌舞伎座を中央区議会として視察しました。  
舞台の設営中をおじゃましましたが、大道具の方たちと話をしている「成田屋」市川海老蔵を見ることができました。  
いくつかのグループに分かれて



①…大道具さんが舞台づくりをしていました



ひとまず3人がけの栈敷席

歌舞伎座の舞台裏を歩き、私たちは(株)歌舞伎座の三橋常務から説明を受けました。



③…座席の下は食堂。当初は下足場だったそうです



④…天井が低く「頭上にご注意下さい」があちこちに

去年、私は、歌舞伎座の舞台で「第九」を歌っていたので、懐かしい感じがしました。

(裏面に続きます)

歌舞伎座は、昔ながらの芝居小屋の雰囲気をかもしだす「異空間」の魅力があります。

バリアフリーや老朽化など改善しなければならぬ部分は多くあ



④…花道でせり上がる「スッポン」の下の様子

歌舞伎の魅力に衣装の早替えがありますが、着替えて舞台に戻るとき、これに乗って奈落から舞台へサッと戻るそうです。



りますが、私は常務に「歌舞伎座の『小屋』としての魅力をぜひ残して欲しい」と要望したところ、常務は「私達も残せるように考え



⑤…舞台前面の小さなセリは「梅ゼリ」と言い手動式



⑥…舞台中央の大きなセリは「竹ゼリ」と言い機械式

ているところです」と答えてくれました。

なかなか普段では入ることが出来ない場所、建て替えるともう見



まわり舞台を動かす機械。まるで工場のように



まわり舞台の機械が故障したとき、舞台を安定させるこの重しをつり上げ、手動で動かすそうです

ることが出来ない場所でもありませんので、その写真を紙面の限りご紹介いたします。



舞台の動きに合わせて操作するのも技術がいります



奈落の柱は、耐震補強がされていました